

平成 21 年度朝日地域審議会

会議録(概要)

期日：平成 21 年 6 月 3 日

場所：鶴岡市朝日庁舎 大会議室

平成 21 年度朝日地域審議会 会議録

日時：平成 21 年 6 月 3 日（水） 14 時 00 分から 16 時 30 分まで

会場：朝日庁舎 4 階 大会議室

出席者：（委員）佐藤芳弥、佐藤照子、齋藤亮一、伊藤恒彦、今野継子、宮崎重美、菅原源志、
帯刀とく子、田村作美、渡部長和、佐藤正、渡部朝雄、渡部一弘、松本壽太（14 名/20 名）
（市側【庁舎】）朝日庁舎支所長、各担当課長、総務課職員
（市側【本所】）総務部長、調整第一課長、調整第二課長、政策調査課長、
宮崎主査、五十嵐調整主任

- 辞令交付 -

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 支所長あいさつ
4. 委員紹介
5. 説明 地域審議会の概要について（資料 1）
6. 報告
 - （1）平成 21 年度市予算の概要について（資料 2）
 - （2）平成 21 年度朝日庁舎主要事業について（資料 3）
 - （3）地域コミュニティ活性化の取り組みについて（資料 4）
 - （4）農業農村課題調査の実施について（資料 5）
 - （5）七五三掛地すべり災害の概要について（資料 6）

【質疑応答】

Q 質問（佐藤正）

合併後の財政指標等が分かる資料を提示してほしい。

行政運営交付金など、53 の合併時未調整項目について、今後協議の機会はあるのか。

原木なめこの菌種助成の事業が今年から廃止となっているが、その理由は。

総合型スポーツクラブについて。昨年秋に朝日地域内の全自治会に対しアンケートを実施したようだが、その結果全世帯に占める総合型スポーツクラブの必要性が有ると回答した割合は 3 割程度しかないようである。それでも総合型スポーツクラブを実施するのか。

保健事業の推進について、各自治会の意見を聞きながらやり方を協議するということであったが、21 年度どのように実施する予定か。

A 回答（総務課長）

については、鶴岡市予算特集号に財政指標等のデータが掲載されているので、そちらを参照してもらいたい。

A 回答（政策調整第一課長）

については、現在未調整項目は 24 項目、うち 19 項目が自治組織、地域コミュニティ関係である。今後、地域コミュニティ活性化の取り組みについての調査研究を踏まえながら、協議を進めていきたい

と考えている。

A回答（農林課長）

については、当初自生なめこの種菌の産地化拡大を目的としていたが、平成 17 年度から市販の種菌でもよいものとなった経過がある。廃止となった理由として、当初の理由と違ってきた事と、補助対象が団体でなく個人であることが問題となったという事がある。

A回答（教育課長）

について、アンケートの回収率は芳しくなかったが、住民の総意ということで扱わせていただきたい。総合型スポーツクラブについては平成 15 年からあり方について検討をはじめ、パネルディスカッション等の検討も行うなど取り組みを行っている。特に予算的な理由として中学校の部活動の補完としてサンスポーツクラブ活動というものがあるが、こちらへの補助を行う際、総合型スポーツクラブに限定補助ということもあり、平成 21 年度から是非開始したいと考えている。

A回答（市民福祉課長）

について、今年も事業は始まっており、目的として組織化を図る事があるが、現在のところ未定である。しかし 37 集落から保健委員が 40 名選出されてきているので、保健委員を対象に研修会等を行っている。組織化については今年度中に方向性が見えるように検討していく予定である。

Q質問（宮崎重美）

先日起きた庄内たがわ農協のカラス駆除の事故について、まずもってお詫びしたい。有害駆除について、朝日地域の東岩本地域にも先日 40 頭ほどのサルの子の群れの目撃情報があった。市でももう少し力を入れた対策をしてもらいたい。

山ブドウについても現在生産調整を行っている訳だが、農協としても人員を増員をするなどして今後販売面にも力を入れていきたいと考えている。市としても更なる支援をお願いしたい。

消防団員の報酬の見直しについて、相当の部分を地域が負担しているという厳しい状況がある。地域に負担がかからない方式を検討してもらいたい。

A回答（農林課長）

について、抜本的な対策がないということで苦慮しているが、現在猿対策会議を庁舎が事務局となり会議を行っている。現在の対策として猿の群れの動向調査を行っているが、有害鳥獣被害の抜本的な対策とはなっていない。今後も調査、対応を続けていく。

について、山ブドウの成分分析を昨年度行っているので、引き続き調査を行い農協と連携して販売促進に繋げていきたいと考えている。

A回答（総務課長）

について、消防団員報酬を含めた税外負担の問題であるが、さらに課題を掘り下げてコミュニティ調査研究を行っていきたい。

(6) その他

Q質問、要望など（菅原源志）

コミセンと地区公民館の役割の評価、検証について、速やかに進めていただきたい。

森林文化都市構想をどう具体化していくか期待している。また、大鳥地区や六十里越街道などの取り組みが上げられているが、大網地域として考えたときに湯殿山スキー場の活性化も含め地域一帯として考えてほしい。

自主防災の関係で1戸あたり950円の補助金を受けているが、どのような使い方をすればよいかご指導を願いたい。

朝日地域にもグランドゴルフ場を整備していただきたい。

月山あさひ博物村の機能をどうするのか、具体的、前向きに考えてもらいたい。

A回答（政策調査課長）

について、地区公民館のあり方について現地に入りながら検討を進めていきたい。の自主防災について、昨年度は全ての自治組織についてアンケートを行い、今年度は各自治組織への指導を行うコミュニティ防災支援員を今回の緊急雇用対策で配置している。今後、アンケート結果を受けて、自主防災組織への助言を推進していきたい。

A回答（総務部長）

について、ひとつの核となる朝日地域の住民への趣旨の周知については、今後機会を設けるよう検討していきたい。また、海山川、この四季の恵み豊かな自然環境の中で人と自然のよりよい環境を探求する事が森林文化都市の願いだと思う。出羽三山、朝日連峰といった広大な森林地帯が本市にはあり、美しい景観、木材資源、山菜やきのこ類、水資源などを提供すると共に多様な文化を育むことにも貢献してきたと思う。森林はかけがえのない財産として保全、活用し、後世に引き渡していくため、山大農学部や地域の方々とも連携して調査研究を進めていきたい。また、首都圏の方々と森林を活用した交流を図ることにより、地域の活力をどう維持していくか考えていきたい。森林の果たす役割は大きいと考えている。今後ともどのような事業展開を行っていくのか調査、検討を進めていきたい。

【委員からの提言】

（佐藤照子）旧地域の特徴を生かした予算化を。江戸川区だけでなく、朝日地域がこれまで交流してきた墨田区との交流へも力をいれたい。

（齋藤亮一）過疎対策についてもっと考慮していただきたい。除雪経費に関する朝日地域と市内との考え方を統一してもらいたい。本郷橋の架け替え工事がようやく着工となるようだが、早く行ってほしい。

（伊藤恒彦）本郷橋の整備について、早く完成するよう取り組んでもらいたい。

（今野継子）博物村について、スキー場、商工会、観光協会等が一体となり地域の振興に繋がるよう活動していきたい。

（帯刀とく子）健康診断後の結果に対する相談窓口のフォロー体制についてしっかり行ってほしい。慶應義塾大学と市は今後どのように連携していくのか。

(松本壽太) 合併したことにより住民対応が遅れないようにしてほしい。実のある過疎対策を行ってほしい。不景気により人員整理の合理化を行ったのに緊急雇用とはどういうことか？

(渡部一弘) 農業関係について、産地確立交付金、中山間直接支払交付金の有効活用を。

(渡部朝雄) 公民館の修繕に関する負担について。公民館の利用日誌について。

(渡部長和) 農業の担い手の確保に繋がる少子高齢化対策を。森林文化都市として朝日地域の自然を都会に発信できれば。道路の関係で、庄内あさひＩＣから東橋までの危険区間の解消のための整備を。

(田村作美) 地元に住んでいる人が豊かでなければ森林文化都市などとうたっても成り立たない。地域も自然も衰退し荒廃している深刻な状況があるので、至急効果的な対策、施策を。

7. その他

8. 閉会 (16時30分)